

2025年度

日本学生支援機構奨学金 説明資料

大学院生 貸与奨学金申込用 ＜定期二次採用＞

※ 申込にあたっては配布資料のほか、右記二次元コードから「貸与奨学金案内（大学院）」を必ず確認してください（以下、「案内ページ」は本資料を確認してください）。



2025年9月

琉球大学 学生部 学生支援課 奨学金担当

大学院生の奨学金申込みについて（留意点）

【貸与奨学金】

日本学生支援機構（以下「機構」といいます。）の貸与奨学金は、勉学への意欲と能力のある学生が、経済的な理由により修学を諦めることのないよう支援することを目的とした国による制度です。

貸与奨学金は返還義務があります。返還された奨学金は、後輩学生の奨学金に活用される仕組みとなっています。

【学部生の奨学金との相違点】

- (1) 「家計基準」は、父母等の所得情報ではなく申請者本人と配偶者の所得情報を基準とします。
- (2) 特別控除の制度はありません。
- (3) 長期履修生として研究科で認められた学生は、貸与期間を確認しますのでお申し出ください。
- (4) 業績優秀者返還免除制度

大学院第一種奨学生及び授業料後払い制度利用者は、在学中に優れた業績を挙げた場合に返還額の全額又は半額が免除される制度があります。詳細は学生生活支援情報ホームページ奨学金「**⑮業績優秀者返還免除**」をご確認ください（博士課程の学生は、採用後に「返還免除内定制度」もあります）。

【留意事項】

(1) 提出書類は「期限厳守」

機構への推薦手続の日程上、募集開始から申込書類の提出（受付）までの期間が非常に短くなっています。必要な証明書類は早めに取り寄せてください（特に県外出身者は留意）。

(2) 「個人情報情報の取扱いについて」

機構は「個人情報情報機関」に加盟しており、奨学金申込時に「個人情報」の登録・提供に同意する必要があります。奨学金の返還を延滞した場合は、個人情報情報が「個人情報情報機関」に提供・登録されたクレジットカードの利用停止や融資が受けられなくなります。また、延滞が長引く場合は法的措置が取られます。

(3) 機構の奨学金は日本人学生が対象

外国籍の方は、在留資格によって申込資格がある場合があります。在留資格の記載がある書類を学生支援課の奨学金窓口へ提示し、申込資格を満たしているか確認してください。

外国人留学生対象の奨学金は、国際教育課で担当しています。

(4) 大学からの呼び出し（電話等）には必ず応じること

奨学生に採用された者は、奨学金に関する説明会に参加し、毎年度義務づけられた必要な手続・書類の提出等を速やかに行ってください。これを怠ることで奨学生の資格を失い、受け取った奨学金の返還を請求される場合があります。

また、大学のホームページや掲示板を普段から確認し、大学からの呼び出し（電話、メール等）には必ず応じてください。

＜お問い合わせ＞

琉球大学 学生部学生支援課奨学金担当（共通教育棟1号館1階）

〒903-0129 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

TEL：098-895-8136（平日8:30～12:00、13:00～17:15）

＜奨学金に関する情報＞

琉球大学学生生活支援情報ホームページ

日本学生支援機構ホームページ



奨学金の申込手続き

1. 配付資料

- (1) 「2025年度 在学者用 ダイジェスト」(機構作成)
- (2) 「2025年度 スカラネット下書き用紙(大学院・法科大学院用)」(機構作成)
- (3) 「2025年度 日本学生支援機構奨学金説明資料 大学院生(貸与奨学金申込用)」(本冊子)

2. 奨学金の概要

※ 奨学金を申請するにあたって右記二次元コードから「貸与奨学金案内(大学院)」を必ず確認してください(以下、「案内〇ページ」は本資料を確認してください)。



(1) 貸与月額等(案内6ページ~参照)

第一種奨学金(無利子)、第二種奨学金(有利子)、授業料後払い制度(修士課程のみ)

※ 第二種の金利は、「利率固定方式」又は「利率見直し方式」のいずれかを選択してください。

授業料後払い制度は第一種奨学金と同時に受け取ることはできません。また、今回の定期二次採用で「授業料後払い制度」に申請できるのは修士課程の2025年秋入学者のみです。

(2) 申込区分

スカラネット入力下書き用紙4ページの「STEP3-②奨学金申込情報」参照(案内26ページ参照)。

※ 第一種及び第二種の両方を受ける場合(併用貸与)は、返還総額が多額となるので慎重にご検討ください。

(3) 入学時特別増額(有利子貸付)(案内10、28ページ参照)

日本政策金融公庫の「国の教育ローン」に申し込んだが、低所得等を理由に利用できなかった世帯の学生に貸与することを目的とした制度です。国の教育ローンの要件を満たさず、申し込みができなかった場合は利用できません。

(4) 奨学金の申込条件

- ① 過去に他の大学院に在籍し機構奨学金の貸与を受けた者が再度入学した場合、希望する奨学金は貸与期間に一定の制限があります。詳細はお問い合わせください。
- ② 現在、留年中の者は申込み資格がありません。

(5) 家計基準(案内10ページ参照)

申込者本人及び配偶者の2024年(1月1日~12月31日)の収入に基づく2025年度住民税情報。

※ 父母の収入は家計基準に影響しません。

3. 申込み手順

(1) 申込内容の準備

①「スカラネット下書き用紙を記入してください。

(2) 日本学生支援機構奨学金申請準備フォーム 入力

①右記二次元コードから「日本学生支援機構奨学金申請準備フォーム」へアクセス
②各項目を入力、送信（送信後は回答を保存推奨）



(3) 入力内容の確認（大学）

学生部学生支援課奨学金担当にて確認
メールで「識別番号（ユーザーID・パスワード）を送付（1～2週間かかる場合があります）
確認事項がある場合は別途連絡します。

(4) 申請書類の提出

学生部学生支援課奨学金担当。提出する書類は「5. 申込書類一覧」のNo. 2～6、
または(2)-②の保存内容（「提出物について」）を確認
※(4)でメールを受け取ってから3営業日以内に提出

(5) スカラネット入力

①右記二次元コードからスカラネットにアクセスし、(3)の「識別番号」と奨学金確認書兼地方
税同意書に記載されている「申込ID」を用いて入力。
入力時には(1)-①を見ながら間違いがないように注意する。
②入力完了時に「受付番号」が表示されるので「スカラネット入力下書き用紙」に転記

(6) マイナンバー提出（インターネット入力）

スカラネット申込完了後に入れるようになるマイナンバー提出専用サイトにログインして
マイナンバーを提出する（案内38ページ）。

(7) 奨学金確認書兼地方税同意書（緑色の封筒）の提出

専用封筒に入れ、機構へ簡易書留で郵送（(7)マイナンバー提出後、1週間以内に提出）
申込者本人、配偶者それぞれ自筆が必要（代筆不可）なので事前に準備

4. 提出期限・提出先

- (1) フォーム入力期間 **2025年9月16日(火)～10月14日(火) 期限厳守**
- (2) 提出書類関係 (5. 提出書類 No. 2～6 について)
- ①窓口提出期間 **パスワード受領後、3営業日以内**
- ②提出時間 平日 8:30～17:00 (12:00～13:00 を除く)
- ③提出先 琉球大学 学生部学生支援課奨学金担当(共通教育棟1号館1階) 窓口横の提出BOX
〒903-0129 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地 TEL: 098-895-8136

※ 全ての書類が揃っていない場合でも、提出期限までに提出できる書類を提出してください
(不備書類の提出期限は改めて設定。**事前連絡なく遅れた場合は受付しません**)。

※ やむを得ない事由がある場合は「奨学金担当宛」に郵送してください(期限厳守)。

※ 提出期限最終日は多くの者が提出するため確認に時間を要します。また、**不備や書類の不足があると申請に間に合いません。準備ができた方は期限を待たずに提出してください。**

5. 申込書類一覧

申込に必要な書類は下記表及び貸与奨学金案内を参考に十分に確認してください。

「3. 申込み手順」の(1)～(7)まで全て終えることで申込完了となります。

No. 1 は簡易書留で日本学生支援機構郵送、その他は琉球大学奨学金窓口提出です。

対象	No	申込書類	備考
全員必須	1	奨学金確認書兼地方税同意書 ※JASSOに簡易書留で郵送。 大学窓口ではない点に注意	①黒いボールペンを使用(鉛筆や消せるボールペンは不可)。 ②住所は(住民票に関わらず)現在住んでいる住所を記入。 ③本人、配偶者の自署必須(代筆不可) ④身元確認書類の詳細等については緑色の封筒内を要確認
	2	レターパックライト430(青色) (結果通知等の送付用)	①「お届け先」に自身の郵便番号・住所・氏名等を記入 ②封をしないで提出 ※上記を守らない場合、再提出となることがあります。
該当者のみ	3	利用中又は過去に利用した日本学生支援機構奨学金の奨学生証等の写し	対象者 <過去奨学金の利用がある学生> 奨学生番号が記載されている書類(奨学生証や返還確認票等)
	4	1. 奨学金提出書類(該当者のみ)(◆) 2. マイナンバーに代わる提出書類(◆) ※学校担当者に事前相談	対象者 <マイナンバー情報提供を拒否する者> <2025年1月1日時点で日本国内に住んでいない者>
	5	1. 奨学金提出書類(該当者のみ)(◆) 2. 在留カード等のコピー 3. 出国記録の写し(原本)	対象者 <日本国籍以外で、在留資格が永住者・特別永住者、日本人の配偶者、永住者の配偶者、定住者、家族滞在等の者> ※「家族滞在」以外の者は1.と2.のみの提出。
	6	1. 進学前離職の特例措置に係る証明書提出用紙(◆) 2. 離職等が確認できる書類(案内32、33ページ参照) ※学校担当者に事前相談	対象者 <2025年度(2024年1月～12月分)で課税されている2025年度新入生で、進学した日の1年前から前日までに離職又は無給休職しており現在も無収入で、申請を希望する者>(案内32、33ページ参照) ※年収100万円が課税の目安とされています。 ※無収入ではなく転職している者は次頁の「6. 転職により収入が減少した場合」を参照。

(◆)の資料は琉球大学学生生活支援情報HP掲載しています。詳細についてはパスワード送付時のメールにてお知らせします

6. 転職により収入が減少した場合

貸与奨学金の家計基準は、マイナンバーにより取得した住民税情報により算出する貸与額算定基準額により審査（貸与案内 10 ページ参照）されますが、下記の条件を全て満たす場合は、転職後の収入を用いて審査（再審査）を受けることができます。（貸与案内 29～31 ページ参照）

- 2024年1月2日以降に、学生本人及び配偶者が「勤務先を変更した（定年退職による場合を含む）」又は「開業した」ことにより、収入が減少した。
※アルバイトの数に変更になり、減収した場合も含まれます。
- マイナンバーにより取得した住民税情報に基づき選考した結果、第一希望の申し込み区分の家計基準を満たさず不採用となった。
- 「転職後に減収した収入により再審査を希望すること」について、奨学金申込時にスカラネットに必要事項を入力した。

<転職後の収入を用いて審査を受ける流れ>

(1) 奨学金担当へ申告

Formsにより転職した者がいる旨を入力

(2) スカラネットの入力

該当項目に「再審査を希望する」旨を入力

(3) マイナンバー情報により家計審査

機構が審査

(4) 第一希望の奨学金が不採用

(5) 収入証明書類の提出依頼

機構から（大学経由で）収入証明書類の依頼

(6) 収入証明書類の提出

機構へ（大学経由で）収入証明書類を提出

(7) 提出した収入証明書類により再審査

機構が審査

(8) 選考結果の通知

大学を通じて連絡

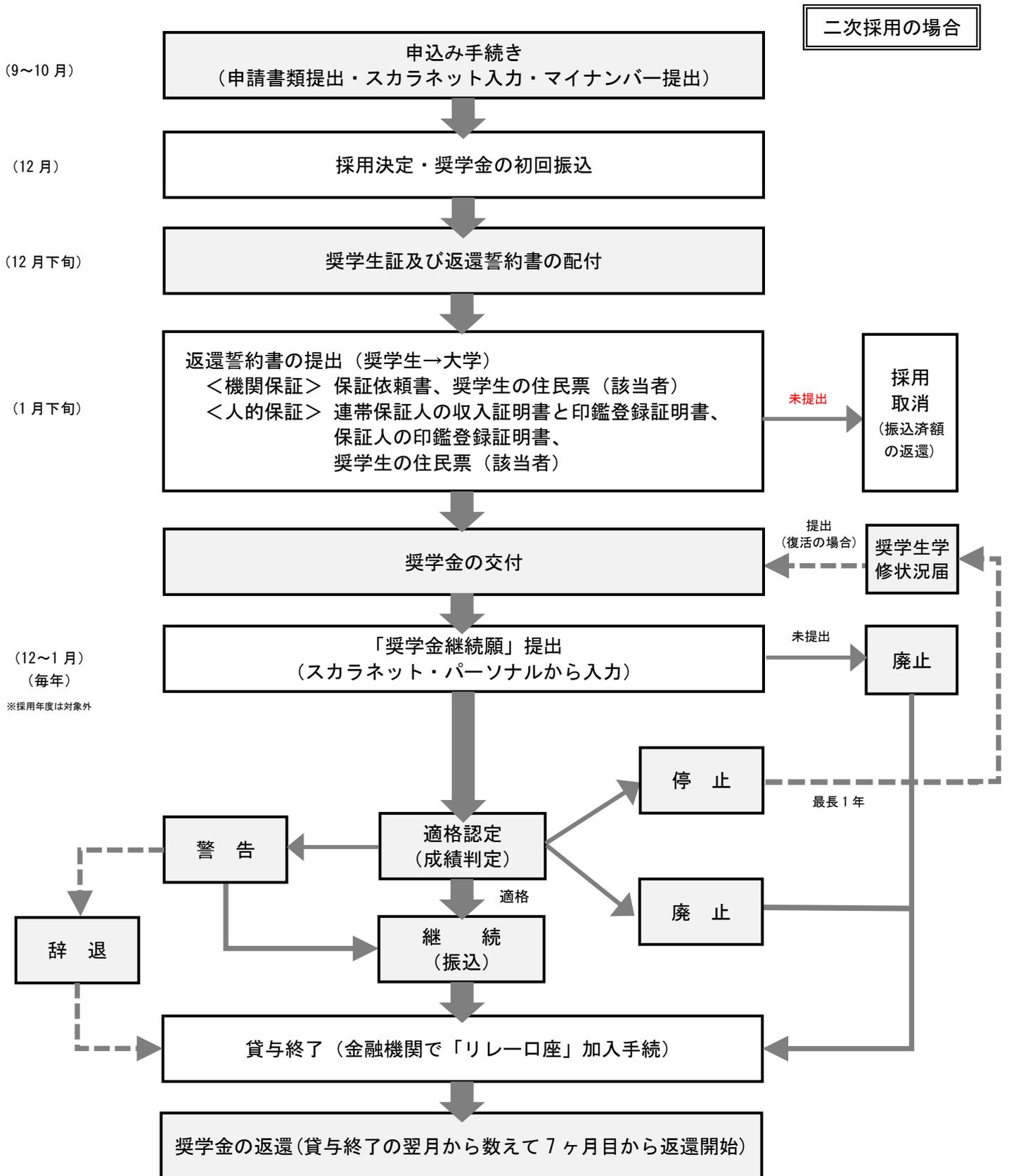
<留意事項>

- (1) 申告に当たっては、「収入・所得の上限額の目安（貸与案内 10 ページ参照）」を確認してください。
- (2) 書面審査（再審査）は、マイナンバーによる選考結果が判明した後に行われます。通常に比べ、選考結果が判明するのが大幅に遅れる場合があります。

6. 採用決定通知

採用決定の連絡は、12月上旬頃に大学メール（××××@cs.u-ryukyu.ac.jp）又は郵送でお知らせします。大学メールを「通常利用しているメール」に転送設定する等して、案内を見逃さないようにして例）父又は母の連絡先を記入（住民票住所とその郵便番号を事前に確認）

奨学金申込みから採用、貸与終了までの流れ



※ 大切な手続きに関する情報は、大学のホームページや掲示板、個人宛大学メール (xxxx@cs.u-ryukyu.ac.jp) でお知らせします。

※ 重要な情報を見落とし必要な手続を取らない場合は、奨学生の資格を失いますことにご留意ください。